



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月7日

上場会社名 WDBホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2475 URL https://www.wdbhd.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野敏光
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 大塚美樹 TEL 079-287-0111
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	32,421	3.8	3,743	△6.2	3,742	△6.9	2,207	△10.6
2019年3月期第3四半期	31,228	10.1	3,992	20.7	4,018	20.2	2,469	△9.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 2,169百万円 (△11.0%) 2019年3月期第3四半期 2,437百万円 (△13.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	111.28	—
2019年3月期第3四半期	124.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	24,927	18,762	74.1
2019年3月期	23,462	16,273	69.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 18,465百万円 2019年3月期 16,273百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	9.00	—	13.50	22.50
2020年3月期	—	11.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	16.50	27.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,638	12.2	4,990	0.6	5,000	0.2	3,100	6.1	156.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	20,060,000株	2019年3月期	20,060,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	220,763株	2019年3月期	220,725株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	19,839,237株	2019年3月期3Q	19,839,404株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、所得・雇用環境の改善に支えられ、緩やかな回復基調が続きましたが、消費税率の引き上げが国内経済に及ぼす影響、米中通商問題や英国のEU離脱をはじめとした海外経済の不確実性などが懸念されております。

国内の雇用情勢におきましては、厚生労働省が発表した2019年12月の有効求人倍率(季節調整値)が1.57倍となり、前月と同じ水準でした。また、総務省が発表した2019年12月の完全失業率(季節調整値)は2.2%となり、前月と同じ水準でした。雇用環境は、引き続き良好な状態が続いております。

当社グループは、化学・バイオ分野を中心とした理学系研究職派遣、機械・電子・IT分野を中心とした工学系技術職派遣および事務職派遣を行う「人材サービス事業」、医薬品・医薬部外品、医療機器等の基礎研究における実験業務と臨床試験以降の開発業務および市販後調査業務の代行・支援を行う「CRO事業」、ガスインジェクション装置やバイオ関連機器等の開発・製造や、インターネットを利用した新たなビジネスを創出する「その他事業」、当社グループの支援を行う「グループ戦略補助事業」からなり、当社及び子会社21社で構成されております。

当社グループは、2020年3月期を、「人材サービス事業」の分野において、競争力を高めるための投資を行う1年と位置づけております。具体的には、WDB株式会社において、新たな営業拠点および派遣社員向けの技術研修拠点を多く設けること、営業担当者を大幅に増員することで、派遣依頼の件数ならびに派遣可能なスタッフ数を増加させることを目指しております。第3四半期に開設した営業拠点は、2019年10月に半田支店、11月に長野オフィス、下関支店、西神中央支店になります。また、研修所については、2019年11月にテクラボ徳島、テクラボ沼津、12月にテクラボ高崎を新設致しました。スタッフの確保は引き続き厳しい状況が予想されますが、地域に密着した営業活動の実施や、スタッフにとってより利便性と価値の高い研修制度を充実させることにより、今後も様々な顧客ニーズにお応えしてまいります。

「CRO事業」では、WDBココ株式会社を中心とした各社の業績が堅調に推移しております。日本、フィンランド、アメリカおよびインドの各拠点が連携し、今後の成長とグローバルCRO体制の構築を目指して営業活動を行っております。また、WDBココ株式会社につきましては、2019年12月25日に東京証券取引所マザーズに上場をいたしました。

以上のような活動の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、32,421百万円(前年同期比3.8%増)となりました。

営業利益につきましては、3,743百万円と前年同期と比べ248百万円(前年同期比6.2%減)の減益となりました。また、経常利益につきましては、3,742百万円と前年同期と比べ276百万円(前年同期比6.9%減)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2,207百万円と前年同期と比べ261百万円(前年同期比10.6%減)の減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、下記の通りとなっております。

① 人材サービス事業

当セグメントの売上高は、29,098百万円と前年同期と比べ1,107百万円(前年同期比4.0%増)の増収、セグメント利益(営業利益)は、3,790百万円と前年同期と比べ235百万円(前年同期比5.9%減)の減益となりました。増収にも関わらず減益となっている理由は、営業拠点および研修所の増設と、営業担当者の大幅増員により、販管費が増加しているためです。

② CRO事業

当セグメントの売上高は、3,046百万円と前年同期と比べ408百万円(前年同期比15.5%増)の増収、セグメント利益(営業利益)は、284百万円と前年同期と比べ137百万円(前年同期比93.2%増)の増益となりました。これは、WDBココ株式会社の受注が堅調に推移したことによりです。

③ その他

当セグメントの売上高は、276百万円と前年同期と比べ323百万円(前年同期比53.9%減)の減収、セグメント利益(営業利益)は12百万円と前年同期と比べ46百万円(前年同期比79.5%減)の減益となりました。大幅な減収減益の理由は、2018年12月にWDB機能化学株式会社を解散し、株式会社WDB環境バイオ研究所の全株式を売却したことにより、この2社の売上および利益が当期に計上されていないためです。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、主として現金及び預金の増加により、総資産は24,927百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,464百万円の増加となりました。負債につきましては、主として未払法人税等の減少により6,164百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,024百万円の減少となりました。また、純資産は18,762百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,488百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想は、2019年5月10日に発表いたしました業績予想からの変更はありません。

なお、当社では剰余金の配当に関する方針を定めております。詳細は、当社ウェブサイト「配当金・株主還元に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,362,821	14,701,689
受取手形及び売掛金	5,073,394	5,261,150
たな卸資産	155,459	159,932
その他	555,825	364,469
貸倒引当金	△340	△6,680
流動資産合計	19,147,161	20,480,560
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,484,970	1,572,026
土地	748,080	748,080
その他(純額)	205,225	313,930
有形固定資産合計	2,438,276	2,634,036
無形固定資産		
のれん	398,637	315,706
その他	35,239	30,728
無形固定資産合計	433,876	346,434
投資その他の資産		
投資有価証券	97,396	112,498
敷金及び保証金	569,959	733,969
繰延税金資産	477,553	328,766
その他	320,708	290,825
貸倒引当金	△22,038	—
投資その他の資産合計	1,443,579	1,466,060
固定資産合計	4,315,732	4,446,531
資産合計	23,462,893	24,927,092
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,949,709	1,846,917
未払金	1,013,066	797,015
未払法人税等	1,063,653	279,317
未払消費税等	744,186	784,160
賞与引当金	591,661	450,427
その他	948,556	1,017,859
流動負債合計	6,310,832	5,175,697
固定負債		
役員退職慰労引当金	415,477	433,186
退職給付に係る負債	172,441	217,037
資産除去債務	123,250	174,676
その他	167,099	164,078
固定負債合計	878,268	988,978
負債合計	7,189,101	6,164,676

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	218,024	726,472
利益剰余金	15,754,806	17,476,498
自己株式	△743,471	△743,591
株主資本合計	16,229,359	18,459,380
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,545	30,379
為替換算調整勘定	23,675	△24,819
退職給付に係る調整累計額	△789	777
その他の包括利益累計額合計	44,432	6,337
非支配株主持分	—	296,698
純資産合計	16,273,791	18,762,416
負債純資産合計	23,462,893	24,927,092

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	31,228,386	32,421,203
売上原価	23,109,319	23,786,899
売上総利益	8,119,066	8,634,303
販売費及び一般管理費	4,126,861	4,890,777
営業利益	3,992,205	3,743,526
営業外収益		
保険解約返戻金	6,031	3,470
固定資産税還付金	8,552	—
助成金収入	8,319	1,978
その他	15,246	10,215
営業外収益合計	38,149	15,664
営業外費用		
解約違約金	2,582	—
消費税差額	4,328	55
上場関連費用	—	12,618
その他	4,953	4,034
営業外費用合計	11,864	16,708
経常利益	4,018,490	3,742,482
特別利益		
固定資産売却益	376	276
事業譲渡益	11,824	—
特別利益合計	12,201	276
特別損失		
子会社清算損	131,376	—
固定資産除却損	1,746	26,109
減損損失	21,390	—
為替換算調整勘定取崩損	—	7,659
その他	22,676	—
特別損失合計	177,189	33,769
税金等調整前四半期純利益	3,853,503	3,708,990
法人税、住民税及び事業税	1,214,494	1,342,820
法人税等調整額	169,414	158,415
法人税等合計	1,383,909	1,501,235
四半期純利益	2,469,594	2,207,754
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,469,594	2,207,754

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	2,469,594	2,207,754
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,825	8,833
為替換算調整勘定	△11,710	△48,495
退職給付に係る調整額	281	1,566
その他の包括利益合計	△32,255	△38,095
四半期包括利益	2,437,338	2,169,659
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,437,338	2,169,659
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	人材サービス 事業	CRO事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,990,954	2,638,005	30,628,959	599,426	31,228,386
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20,963	20	20,983	—	20,983
計	28,011,917	2,638,025	30,649,943	599,426	31,249,369
セグメント利益	4,026,500	147,326	4,173,827	58,972	4,232,799

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有機化合物製造事業、魚介類の養殖販売事業及び射出成形補助装置の製造開発事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	4,173,827
「その他」の区分の利益	58,972
全社費用(注)	△240,593
四半期連結損益計算書の営業利益	3,992,205

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	人材サービス 事業	CRO事業	計		
減損損失	—	—	—	103,137	103,137

(注) 「その他」の金額は、有機化合物製造事業に係る金額であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「CRO事業」セグメントにおいて、DZS Clinical Service, Inc. (DZS Software Solutions, Inc. から名称変更)を連結の範囲に含めております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において212,414千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	人材サービス 事業	CRO事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,098,552	3,046,526	32,145,078	276,125	32,421,203
セグメント間の内部売上高 又は振替高	27,178	—	27,178	—	27,178
計	29,125,730	3,046,526	32,172,257	276,125	32,448,382
セグメント利益	3,790,631	284,653	4,075,284	12,060	4,087,344

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ガスインジェクション装置等やパイオ関連機器の開発製造事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	4,075,284
「その他」の区分の利益	12,060
全社費用(注)	△343,818
四半期連結損益計算書の営業利益	3,743,526

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。